

この御休息所は、明治天皇から昭憲皇太后への贈り物として建てられました。様式は数寄屋造りで、これは茶室にヒントを得た洗練された建築手法を取り入れていることを意味します。元の建物は1900年に建てられましたが、第二次世界大戦時に焼失しました。現在の建物は1958年に再建されたものです。

隔雲亭からは多くのツツジが植えられた芝地が一望でき、昭憲皇太后のお気に入りの場所・南池もよく見えます。皇太后は芝地や御釣台で時間を過ごした後、ここでいつも休憩をしていました。